

おかしん



VOL.803



伊賀八幡宮 (岡崎市)

文化財を訪ねて 東照大権現 **伊賀八幡宮**

「家康公検定2020」を開催

Okashin News ボックスティッシュの原画作者への記念品贈呈

文化財 も訪ねて

東照大権現

伊賀八幡宮

今回の「文化財を訪ねて」は、徳川家康公も戦勝祈願をした、岡崎市の「伊賀八幡宮」を訪ねました。蓮の名所としても知られ、花は6月初旬に咲きはじめます。例年7月中旬が見頃となり、その美しい姿を写真に収めようと、早朝からカメラを片手に多くの人が訪れます。

松平家・徳川家の氏神

伊賀八幡宮の歴史

伊賀八幡宮は、文明2（1470）年、松平家（徳川家の祖）四代目の親忠公により、子孫繁栄・武運長久の守護神、氏神として創建されました。そして、5年後に創建された菩提寺・大樹寺（岡崎市鳴田町）とともに松平家・徳川將軍家の篤い崇敬をうけてきました。

境内には家康公が造営した本殿をはじめ、国の重要文化財に指定された建造物がいくつも存在します。現在の境内は、寛永13（1636）年、徳川三代將軍・家光公によってその威容が整えられました。同時に、家光公は東照大権現（家康公）を相殿神として、御祭神（応神天皇、仲哀天皇、神功皇后）に加えました。以降、伊賀八幡宮は徳川幕府・將軍家の累代祈願所ともなりました。

明大寺の地に築かれた岡崎城の前身にあたる居城（現在の龍海院）から、伊賀八幡宮、大樹寺へと、全ての参道が真北に向かって一直線に並んでいます。これは偶然でしょうか？ 往時に思いを馳せ、考察してみてもいいでしょうか。

午後には花が閉じてしまうため、午前中がおススメです。



戦勝祈願 伊賀八幡宮にまつわる逸話

天文4（1535）年12月、織田信秀が岡崎に攻め込んだ際、松平八代広忠公（家康公の父）は、伊賀八幡宮に戦勝を祈願し、織田勢を井田ヶ原に迎え討ちました。そのとき先頭に白馬に乗った武者が現れ、敵陣めがけて白羽の矢を放ちました。すると伊賀八幡宮の神殿が鳴動し、黒雲沸きのほり嵐をよび、たくさんの白羽の神矢が雨のように敵陣に飛びました。たちまち二万余りの敵は敗走、伊賀八幡宮のご加護と感激した広忠公は、その神矢を拾い神前に奉納したと伝承されています。



石鳥居 国の重要文化財



東照大権現（家康公）御神像

家康公も崇敬の念きわめて篤く、初陣の参詣を吉例に、以降大きな合戦の際には必ず祈願したといわれています。永禄3（1560）年、桶狭間の戦いに今川勢として参戦し、敗れた家康公が軍を引き返し、追っ手を逃れようやく矢作川までたどり着きました。しかし、対岸へ渡る川瀬が見つからず迷っていたところ、一頭の鹿が現れました。伊賀八幡宮の神遣に違いないと、家康公はその鹿に従い、無事に対岸の大樹寺に入ることができたと伝えられています。

徳川四天王の一人、本多忠勝公はこの逸話にちなみ、自身の兜に鹿角を用いたともいわれています。

関ヶ原の戦いや大坂の陣に際しても、神殿が鳴動したり、石鳥居が西に移動したりするなど、それぞれ不思議な吉兆があったといえます。





本殿

国の重要文化財

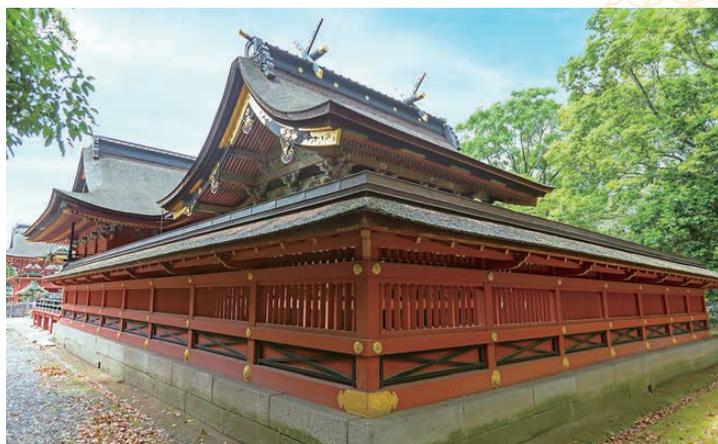
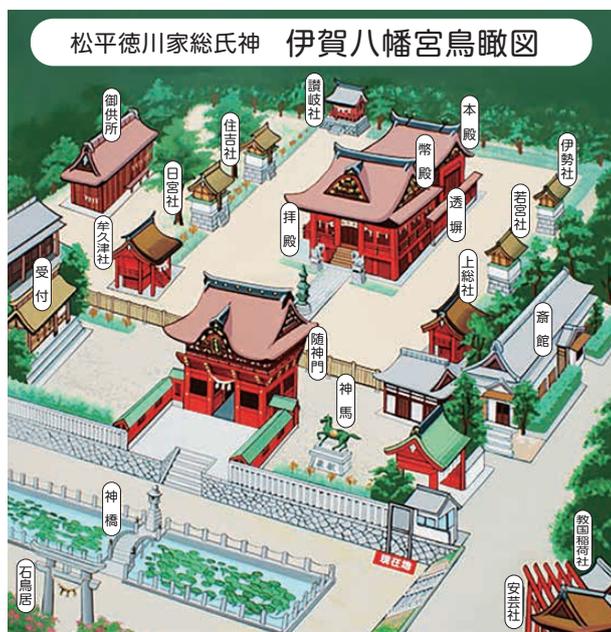
慶長16 (1611) 年、家康公によって造営されました。権現造りの本殿は入母屋造が普通ですが、伊賀八幡宮は流造りになっている珍しい建物です。「本殿」「幣殿」「拝殿」の三連で権現造りとなっています。



拝殿

国の重要文化財

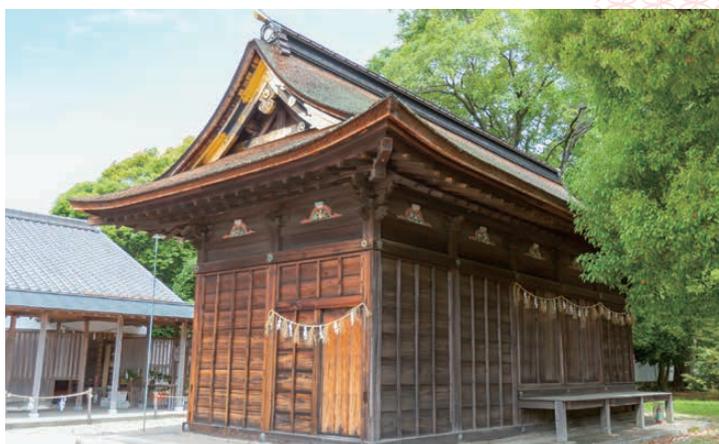
寛永13 (1636) 年、三代将軍家光公によって本殿に増設し、造営されました。全国の八幡社では、モチーフとして「鳩」が多く用いられています。しかし、伊賀八幡宮の拝殿には家康公が好んだ「鷹」が描かれており、阿吽の対になっています。



透塀

国の重要文化財

本殿と幣殿を囲んでおり、一定の間隔で並んだ格子の隙間から本殿と幣殿を見ることができます。透塀も檜皮葺の屋根となっています。



御供所

国の重要文化財

ごくしょ
神様のお供物を調製し、御饌殿として使用しました。社殿以外の建造物で古いものが残っているのは全国でも数社のみです。



神橋 (石橋)

国の重要文化財

蓮池にかかる石橋は寛永13 (1636) 年、境内が整備された際に架けられました。幕府作事方御大工鈴木長次が木橋の工法を取り入れて造りました。

「家康公検定2020」を開催！

去る5月9日(日)、「家康公検定2020」が岡崎信用金庫本店2階大ホールをはじめ5会場（岡崎市内4会場、名古屋市1会場）で開催されました。通算10回目となった今回は、2020年が家康公の関東移封から430年の節目の年にあたることから「江戸開府430年/家康公の生涯と江戸打入り」をテーマに、家康公や家臣団による関東移封に伴う新たな国づくりを問う問題を中心に全100問（四者択一）が出題され、487名の皆さんが挑戦しました（制限時間90分）。

試験結果は次のとおり。合格者には合格証が交付され、優秀合格者には徳川宗家より表彰状が授与されます。

- 合格率：75.2% (前回 67.7%)
- 平均点：77.9点 (前回 75.0点)
- 最年少合格：小学2年生
- 最年長合格：89歳
- 最高点：100点 (2名)



試験会場の様子（岡崎信用金庫本店2階大ホール）

試験会場を前回の2会場から5会場に増設。定員の4割程度に座席数を制限するなど新型コロナ対策に努めました。



家康公検定 過去問に挑戦！5

今回は、実施されたばかりの「家康公検定2020」の試験問題の中から、江戸発展の基礎ともなった大規模な社会基盤整備事業の内容を問う問題を紹介します。

問題

関東の国づくりの基本となったのは、乱流する大河 ^{とねがわ}利根川の ^{ちすい}治水です。家康公の命を受けた代官頭 ^{いな}伊奈忠次は、この利根川をどのようにして治水したのでしょうか？

- (1) 各所で水をせき止め、洪水の江戸への流入を防いだ。
- (2) 江戸湾に注いでいた流れを、太平洋に注ぐよう流路を変えた。
- (3) 江戸の地下を抜けて海に流れ出るよう、巨大なトンネルを掘った。
- (4) 江戸湾まで続く長大な堤防を造成した。

解説

もともと江戸湾に流入していた利根川は、武蔵国北部では細かく乱流し、^{あやせがわ}綾瀬川や荒川とも合流したり分流をしたりしていました。洪水ごとに流路を変え、災害を巻き起こすという状況だったのです。そこで家康公や側近たちが考えだした大規模工事が「利根川東遷事業」です。江戸湾に流れる利根川を銚子 ^{ちやうし}を河口とする位置に付け替えるという事業です。初めは代官頭であった伊奈忠次によって、利根川の流路を東寄りに変える工事が行われました。この事業は長男の忠政に、忠政亡き後は次男の忠治へと引き継がれ、^{しょうおつ}承応3年(1654)、60年の歳月を費やして遂に完成したのです。



利根川河口付近（千葉県香取郡東庄町）



伊奈忠次像（埼玉県加須市）

ボックスティッシュの原画作者への記念品贈呈

当金庫は、障がいがありながらも素晴らしい絵の才能を持つアーティストたちの自立に取り組む一般社団法人アティックアートの活動を応援しています。

2021年5月10日(月)、アティックアート活動の一環として作成しているボックスティッシュの原画作者である愛知県立大府もちのき特別支援学校の7名の生徒のみなさんへ記念品を贈呈しました。

ボックスティッシュは2012年度より毎年リニューアルをしており今回で10作目となります。

ボックスティッシュに採用された原画一覧

愛知県立大府もちのき特別支援学校



尾野田紗羅さん「狼虎」



尾野田紗羅さん「海亀」



尾野田紗羅さん「翡翠」



尾野田紗羅さん「海月」



川畑哲心さん「シンカイギョ」



丹羽陽輝さん「アフリカン アニマル」



小林遼汰さん「トノサマバッタ」



山本拓海さん「ニジイロカブト」



大宮あずささん「みどりの魚さん」



佐野光汰さん「エジプト ザ キング」
～えらい人が好き～



スマホで手軽に口座管理！



おかしんアプリ

ご利用無料

口座の残高・キャンペーン情報 すぐに確認！

App Store

からダウンロード



Google Play

で手に入れよう



詳しくはホームページをご覧ください。

おかしんアプリ

検索

新しくなりました！



新築移転オープン!

岡崎信用金庫 豊橋大清水支店

全自動貸金庫を設置し安心・便利!
土・日・祝日もご利用OK!
ご利用時間：8時～21時



2021年
7/19
(月)

このたび、岡崎信用金庫豊橋大清水支店は、新築移転させていただきます。
今後もより一層地域の皆さまに愛され信頼される金融機関を目指してまいりますので、引き続きご愛顧くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



岡崎信用金庫 豊橋大清水支店

〈移転前〉〒441-8132
豊橋市南大清水町字富士見365番地2
〈移転後〉〒441-8135
豊橋市富士見台4丁目1番地1

TEL : 0532-25-9901

※電話番号は変わりません

